

9月になっても暑い。暑い日が続き、コロナのマスクでなお一層暑苦しい。

お見舞い申し上げます。本当ならば防災の日で大規模な防災訓練が各地で行われるのですが、今年は様変わりです。新型コロナウイルス感染拡大が止まりません。感染者数は増えますが、有難いことに死者等は少ない数字で推移しています。

8月28日に安倍総理大臣は、記者会見で、持病の潰瘍性大腸炎が再発し、国民の負託に、自信を持って応えられる状態でなくなったとして、総理大臣を辞任する意向を正式に表明しました。病気と治療を抱え、体力が万全でない苦痛の中、大切な政治判断を誤る、結果を出せないことがあってはならない。として「さまざまな政策が実現途上にあり、コロナ禍の中、職を辞することについて、国民の皆様は心より、おわび申し上げる」と謝罪した上でこのタイミングとなったと述べた。もっともらしく聞こえるが、会見では「先月中ごろから体調に異変が生じ、体力をかなり消耗する状態となりました。そして8月上旬には潰瘍性大腸炎の再発が確認されました」とも言っていた。じゃあ、なぜその時に辞めなかったのか。『長いだけで何の実績もなく、権力を私物化し、日本の社会も経済もメチャクチャにただけの政権でした。こんな無能首相が7年8カ月も続いてきたことが不思議です。モリカケ桜など数々の疑惑もあり、本当はもっと早くに辞めるべきでしたが、軽いみこしを担いで利用する勢力が長期政権を支えてきた。首相の威光をカサに着て権勢を振るってきた官邸官僚、国民を窮乏化させて肥え太ってきた財閥、そして税金を食い物にしてきた電通などです。』(政治評論家・本澤二郎氏)と言われるような公平や正義に欠ける罪の部分、外交の安倍と言われますように、拉致問題、北方領土は一步も前進しませんでした。176カ国をも訪問しトランプ大統領との蜜月による発言力の強さは評価され、G7では米・欧州間の利害対立を仲介するなど信頼関係の醸成に貢献した。

また「核兵器の廃絶は私の信念であり、日本の揺るぎない方針だ。核兵器国と非核兵器国の橋渡し役を日本が行い、唯一の戦争被爆国として核廃絶に向けた努力を重ねていかなければならない」とも述べた。職務が遂行できない首相を「疲れているから休ませろ」と隠し、このコロナ禍で政治空白を是認してきたのは言語道断だ。それなのに「安倍しかいない」とか言って祭り上げ、党則変更で連続3選を可能にしてまで安倍首相を担ぎ続けてきた自民党の罪もかぎりなく大きいと思う。野党がだらしないのでこのような状況は致し方ないのだが、残念です。これからは治療に専念して欲しいと思う。本当に長い間お疲れ様でした。

さてコロナ禍の中で、世の中が大きく変わってきます。今まで常識とされていた、面談・移動・捺印等々が本当に必要か？システムでできることはシステムに任せて人間にしかできないことをする。AI、ITが生活のすべての面に入ってきます。これに対応できるのはあらゆるものを吸収できる若い世代に頼るしかありません。政治の世界も安倍首相の退陣に伴い大きく変わらなければなりません。与党も野党も昔の人は引退すべきです。何もしがらみのない若い世代に任せて、消費税ナシのコロナ救国内閣を作るべきではないかと思う。地方では新しい世界は若者・馬鹿者・よそ者が主力となって作ります。国も新しい力に期待したい。